【トピックス】
平成29年1月30日
大阪労働局
職業安定部 職業安定課

- １２月の景況感は9月調査より改善し、昨年度１２月調査以来、４四半期ぶりのプラス。３か月後はやや低下するもプラスの見通し。
- パート・アルバイト社員に対する年末賞与（ボーナス）について約半数（51.1％）の企業が「支給する」と回答。
- 正社員の不足感は製造業において低下したものの、非製造業では高止まりしており、業種間の差が広がっている。

# 平成28年度 第3回ハローワーク雇用等短期観測調査の結果

平成29年1月30日　大阪労働局職業安定部

○調査目的

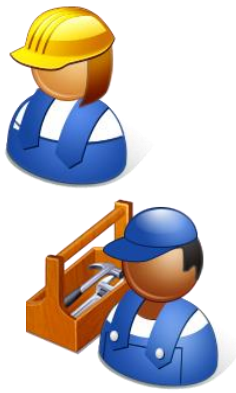
大阪労働局では、大阪府内の景気や事業活動による雇用への影響等を的確に把握するため、平成２５年度から四半期毎にハローワークによる管内企業へのヒアリング調査を実施しています。今回、平成２８年度第３回目の調査を実施しました。

○調査時期　　平成２８年１２月１日（木）から平成２８年１２月２８日（水）まで

○回答企業　３１８社
（調査対象３２５社
回答率９７．８％）

（　）は構成比

| 規模別＼産業別 | 産業計 | 製造業 | 非製造業 |
|---|---|---|---|
| 規模計 | **３１８社** | １６０社（５０．３%） | １５８社（４９．７%） |
| ９９人以下 | １１４社（３５．８%） | ５２社（１６．４%） | ６２社（１９．５%） |
| １００人以上４９９人以下 | １２６社（３９．６%） | ７８社（２４．５%） | ４８社（１５．１%） |
| ５００人以上 | ７８社（２４．５%） | ３０社（９．４%） | ４８社（１５．１%） |



※本文中の「ＤＩ」とはＤｉｆｆｕｓｉｏｎ　Ｉｎｄｅｘの略

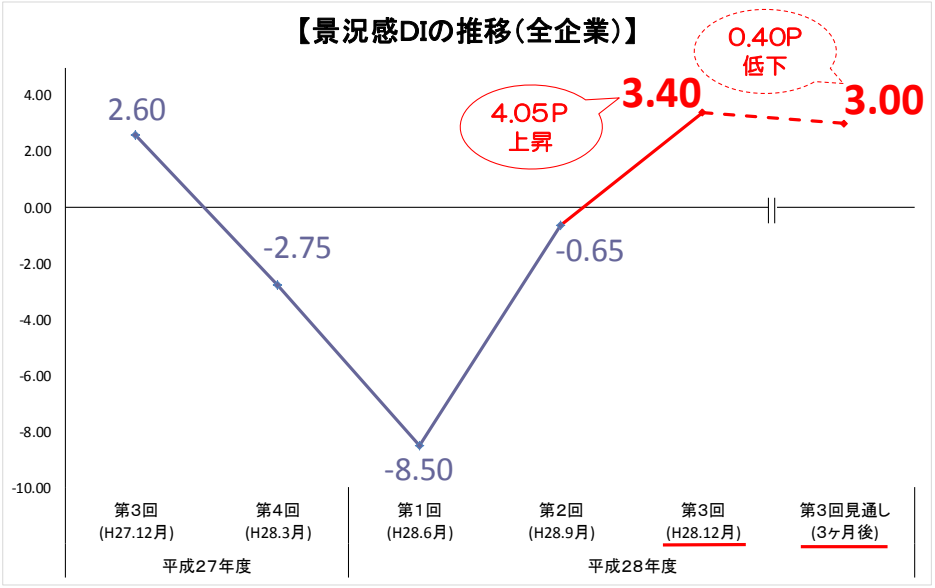
景気の現状、景気の先行き、正社員、非正規社員の過不足感に対する５段階の判断に、それぞれ以下の点数を与え、これらを各回答区分の構成比（%）に乗じて大阪労働局独自でＤＩを算出している。

・良い、不足している　・・・・・・＋１．０
・やや良い、やや不足している　・・・・・・＋０．５
・変わらない、適正　・・・・・・０
・やや悪い、やや過剰である　・・・・・・－０．５
・悪い、過剰である　・・・・・・－１．０

※　構成比(%)については、小数点の調整により合計と各項目の足し上げが一致しない場合がある。

# 1　景況感について

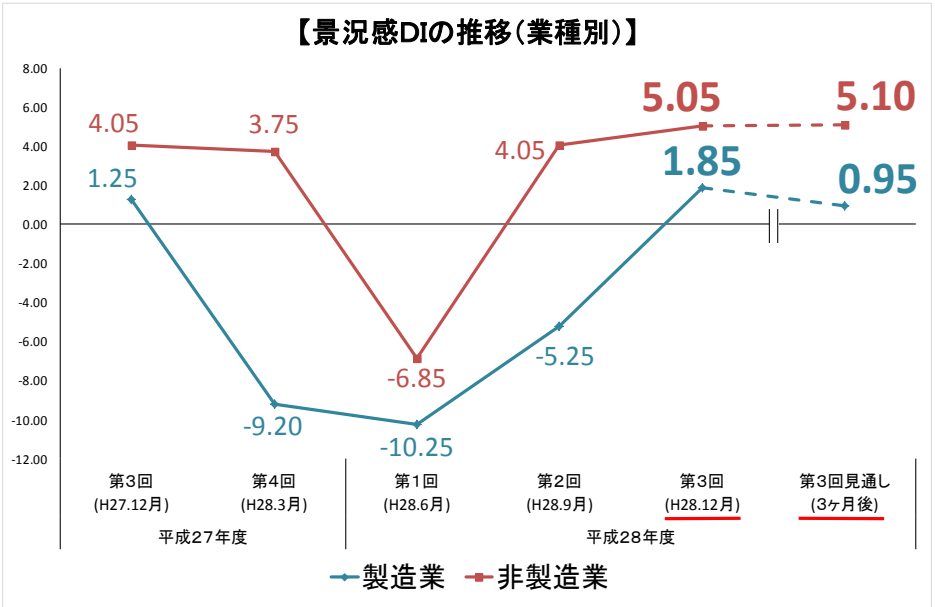
※景況感DI:「良い」または「やや良い」と回答した企業の割合から「悪い」または「やや悪い」と回答した企業の割合を差し引くことによって算出した指数。




【全企業】

・平成28年12月現在の景況感DIは、9月調査(平成28年度第2回)より**上昇**(4．05ポイント上昇)し、3．40と、**昨年度同月調査**(平成27年度第3回)**以来のプラス**となった。

※全企業(318社)の回答割合
「3か月前と比べた現在の景気について」
**良い・やや良い:20．4%**
変わらない:63．2%
悪い・やや悪い:16．4%

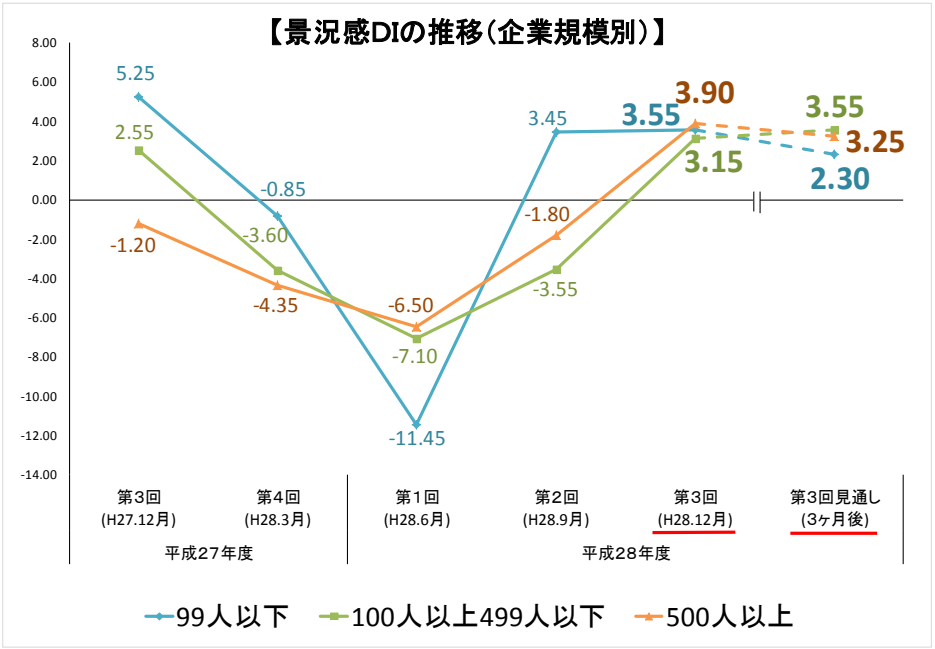



・3か月後の見通しDIは3．00と**低下**(0．40ポイント低下)している。

※全企業(318社)の回答割合
「3か月後の景気について」
**良い・やや良い:21．4%**
変わらない:61．0%
悪い・やや悪い:17．3%
不明:0．3%

【業種別】

・業種別にみると、平成28年12月現在の景況感DIは、「**製造業**」(1．85)、「**非製造業**」(5．05)**ともに上昇**し、**いずれもプラス**となった。
・3か月後の見通しDIについては、「**製造業**」(0．95)では**低下**している一方、「**非製造業**」(5．10)は**更に上昇**している。




【企業規模別】

・企業規模別にみると、平成28年12月現在の景況感DIは**すべての企業規模で上昇**し、**いずれもプラス**となった。
・3か月後の見通しDIについては、「**100人以上499人以下**」では**更に上昇**し、その他の企業規模では**低下**している。

※（業種 ・ 企業規模）

## ～企業からの声～

### 【為替相場関係】

- 原材料は輸入が多いことから円安はマイナス要因だが、**第二四半期までの円高と販売が堅調であることから昨年度に比べて今年度の業績は良い**。円安が続けば原価率への影響は避けられないものの、観光事業等にプラスに働けば、衛生関連商品には需要増加も見込める。（化学工業・５００人以上）

- 為替相場の変動による影響については、短期的には、**円安により溶接ロボット等の輸出が好調**であるが、今後原材料の高騰の影響はあると思われる。（電気機械器具製造業・５００人以上）

- 製品（鋼管）需要は非常に強く、取引メーカーも販売も国内であることから**為替の影響等はまだ出ていない**。メーカーの原材料の輸入価格が上昇傾向にあり、販売価格への転嫁は理解を得られると考えている。（卸売業・１００人以上４９９人以下）

- 円安について、売る方（輸出）はすぐに結果が出るが、原材料費については後でしわ寄せが出てくるので、**今が良い状態でも油断はできない**。（はん用機械器具製造業・１００人以上４９９人以下）

- 為替相場変動による取扱商品の需要変化が読みづらい。こうも変化が激しいと相場に合わせて軽々に動くことができない。（繊維工業・１００人以上４９９人以下）

### 【中国経済・インバウンド需要関係】

- 造船関係の受注は中国が半分以上を占めているため、**中国経済の減速**で、２０１８年以降の**受注に影響が出てきている**。また、造船関係の受注額が値下がりしている。（はん用機械器具製造業・１００人以上４９９人以下）

- 訪日中国人観光客の**爆買いによる好影響は昨年の上半期まで**で、それ以降は、**海外（中国以外）・国内での需要が拡大傾向にあり、景気は横ばい**で推移している。（電気機械器具製造業・５００人以上）

- **外国人観光客の増加**等の影響により、依然としてホテル建築需要が多い。（建設業・１００人以上４９９人以下）

- 昨年はインバウンド効果があった上、大阪市内の宿泊施設が不足していたので、市外にも宿泊客が足を延ばしてくれたが、今年は、地震の影響や韓国からの観光客の減少、民泊の増加等もあり、市外まで宿泊客が来ない。しかし、本当に日本旅館に泊まりたいリピーターの外国人宿泊客や日本人宿泊客が戻ってきた感じがする。（宿泊業・９９人以下）

### 【その他】

- この数ヶ月、地場産業の企業で荷物の量が多く、**好調**である。季節的なものもあるが、**例年に比べ多い**と感じている。（道路貨物運送業・５００人以上）

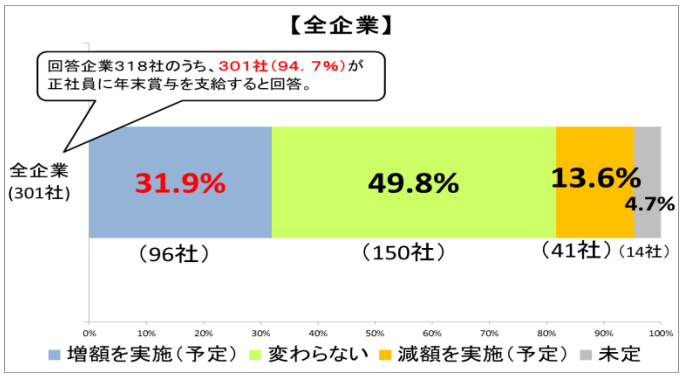
- 世界の経済が良くならないと、自動車販売も伸びない。グローバルな動きを注視し続けているが、英国のＥＵ離脱、米国の大統領選等、**予期できないことが続いている**。（輸送用機械器具製造業・５００人以上）

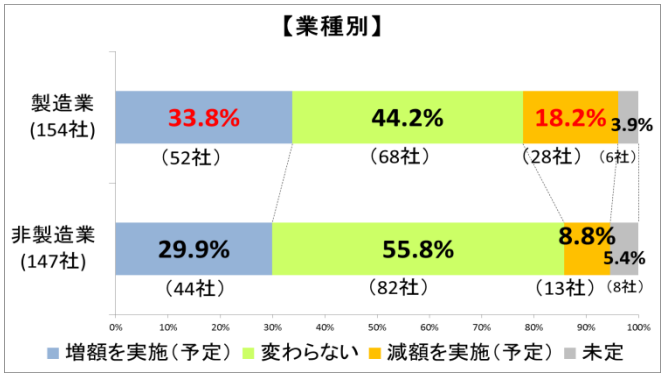
- 当社においては、正社員・パート等関係なく業務内容に見合った賃金や手当等を支給している。魅力ある職場環境があってこそ、離職率の低下や生産効率のアップにつながる。（はん用機械器具製造業・１００人以上４９９人以下）

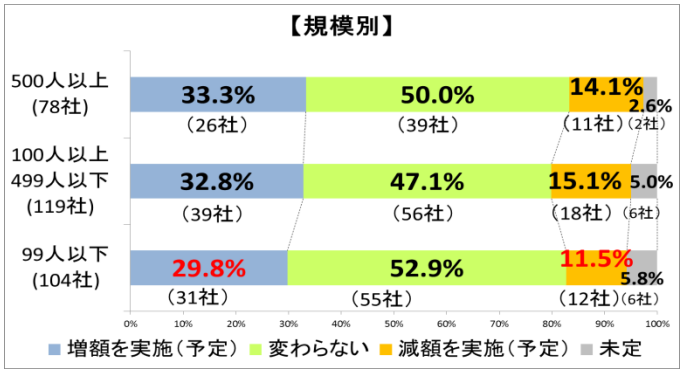
# 2　年末賞与（ボーナス）について

## （1）正社員に対する年末賞与（ボーナス）の昨年と比べた金額について

当該項目における全企業：正社員に年末賞与（ボーナス）を支給すると回答した企業　301社



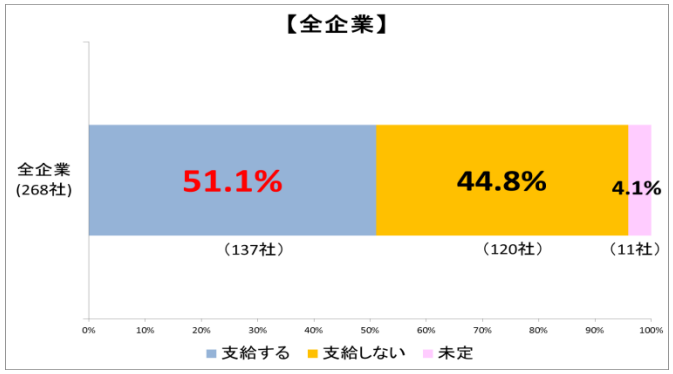



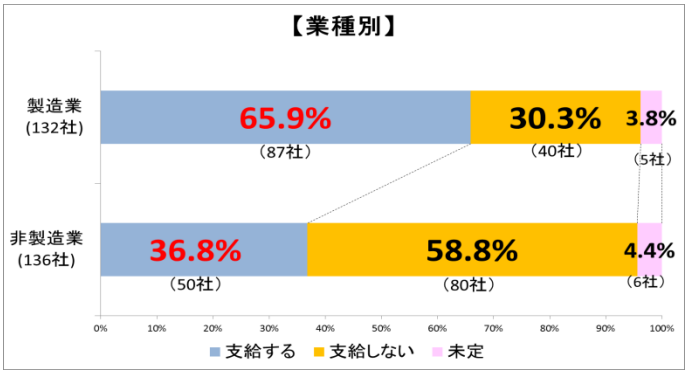



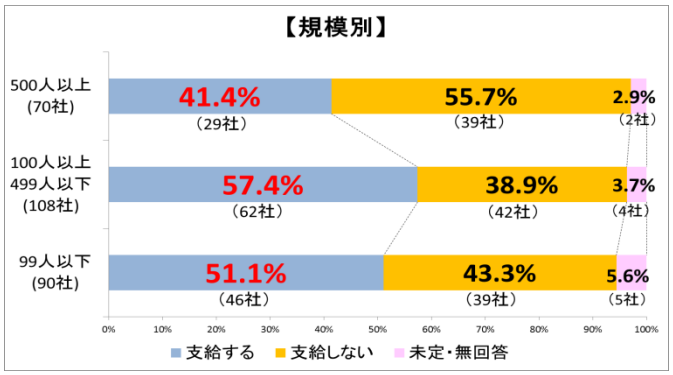

・正社員に**年末賞与（ボーナス）**を支給すると回答した企業（301社）のうち、**31．9%（96社）**が**増額**を実施（予定を含む）と回答。
・業種別にみると「**製造業**」が「**増額を実施する**」と回答した割合が**高くなっている**一方で、「**減額を実施する**」と回答した割合も高くなっている。
・企業規模別にみると「**99人以下**」において、「**増額する**」と回答している割合が**低くなっている**一方で、「**減額する**」と回答している割合も**低くなっている**。

## （2）パート・アルバイト社員に対する年末賞与（ボーナス）について

当該項目における全企業：パート・アルバイト社員を雇用していると回答した企業　268社



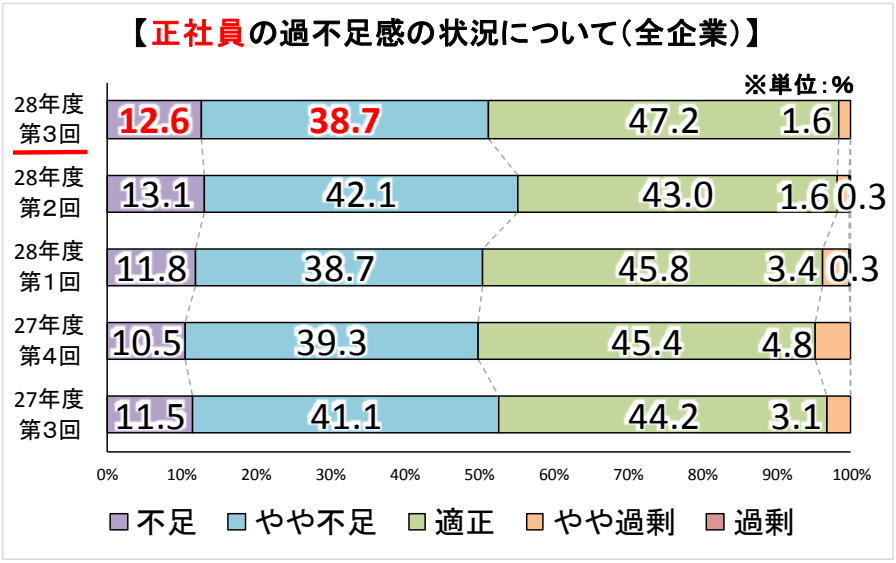



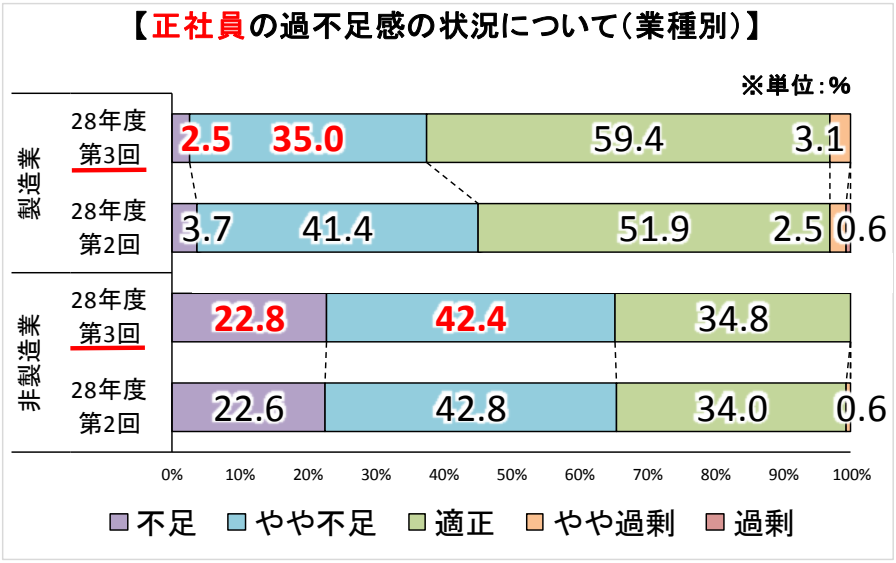

・**パート・アルバイト社員**を雇用している企業（268社）のうち、**年末賞与（ボーナス）**を「**支給する**」と回答した企業は、**51．1%（137社）**。

・業種別にみると「**製造業**」が「**支給する**」と回答した割合が**高くなっている**。

・企業規模別にみると「**500人以上**」において、「**支給する**」と回答している割合が**低くなっている**。

# 3　正社員の過不足感について




・**正社員**の過不足感について、「**不足**」「**やや不足**」と回答した企業は**51．3%**となり、前回調査（9月調査）を下回ったものの、引き続き半数を超えており、**人手不足感は高止まりしている**。

・業種別にみると、「**不足**」「**やや不足**」と回答した企業の割合は、「**製造業**」では**37．5%**と前回調査を7．6ポイント下回っている一方、「**非製造業**」では**65．2%**と前回調査とほぼ同水準（0．2ポイント低下）となっており、「**非製造業**」では**依然として人手不足感が強く、業種間の差が広がっている**。

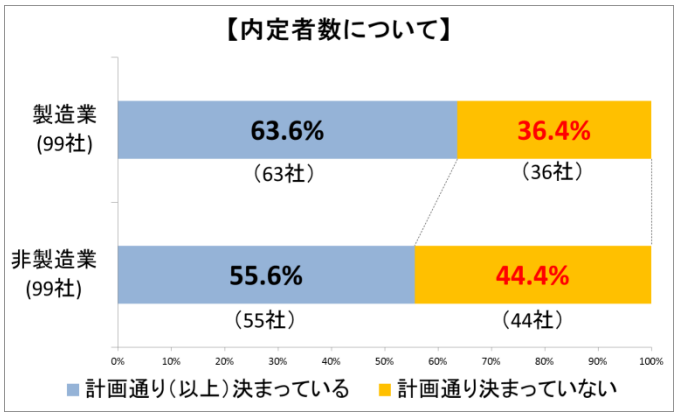
※（業種 ・ 企業規模）

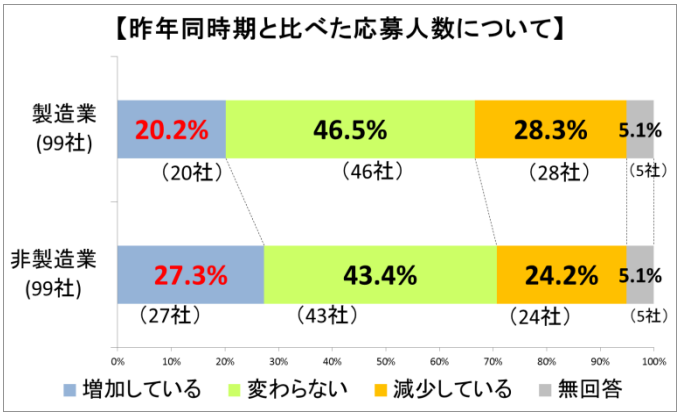
## ～企業からの声～

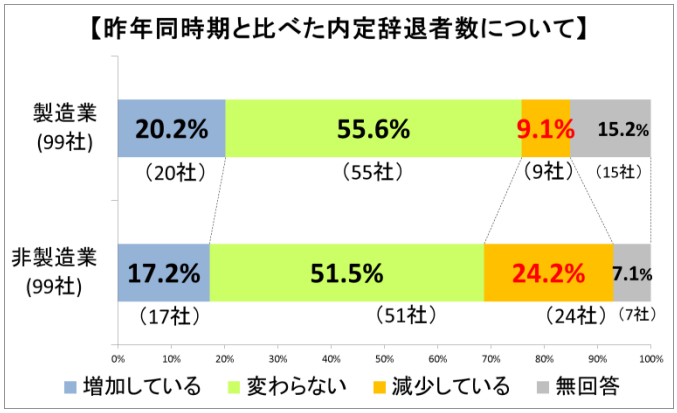
- 技術を学ぼうという**意欲のある方が年々減少している**ように感じられる。結果的に長続きしない方が多い。（パルプ・紙・紙加工品製造業・９９人以下）
- 指示待ちでなく、自分で積極的に仕事の段取りができ、**一人で何役もできるような人材を育成**することで人手不足を解消するようにしている。（卸売業・１００人以上４９９人以下）
- 現在も人員が不足しているが、**将来的な技能者不足に不安を感じている**（建設業界を希望する新卒や若手が年々減少している）。（建設業・１００人以上４９９人以下）
- **課題は人手不足対策**で、技能実習生の受け入れをした中で、現在帰国していて日本での就労を希望している方もいるので、**外国人雇用を考えている**。（卸売業・１００人以上４９９人以下）
- 開店・閉店準備のパートを募集してみたところ、**仕事前や仕事帰りに１～２時間働きたい方の需要が意外とあり**、助かっている。それによって接客担当者が接客に専念できている。（飲食サービス業・５００人以上）

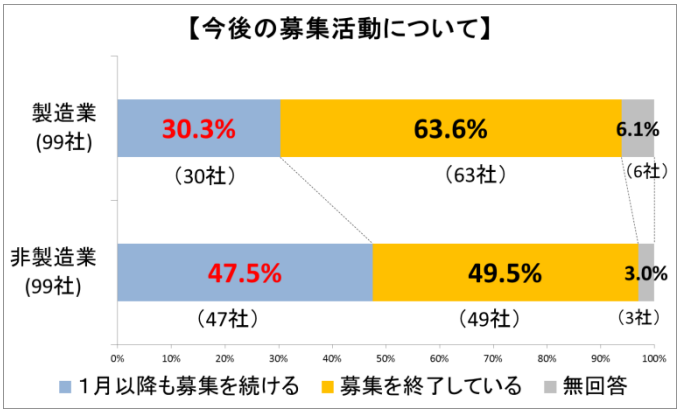
# 4　平成２９年３月末大学等卒業予定者(短大・高専・専修学校を含む)の採用選考状況における製造業・非製造業の比較について

※当該項目における全企業：「採用予定なし」または「無回答」を除く198社




・「**非製造業**」の方が、内定者数について、「**計画通り決まっていない**」と回答した割合が**高くなっている**。
・「**非製造業**」の方が、昨年同時期と比べた**応募人数**について「**増加している**」と回答した割合が**高くなっている**。
・「**非製造業**」の方が、昨年同時期と比べた**内定辞退者数**が「**減少している**」と回答した割合が**高くなっている**。
・「**非製造業**」の方が、今後の募集活動について、「**1月以降も募集を続ける**」と回答した割合が**高くなっている**。

※(業種 ・ 企業規模)

## ～企業からの声～

- 内定者を多めに出したにもかかわらず、**計画通り**採用者が**決まらなかった**。来年はその結果を踏まえて、**内定の基準等を見直したい**。（パルプ・紙・紙加工品製造業・５００人以上）
- 内定者の辞退や会社説明会の不参等、**大学等卒業予定者の採用が難しくなってきている**が、**卒業3年以内の既卒者**で**カバーしている**。短いとはいえ社会人としての経験もあり、今後はこちらに**シフトしていく可能性**もある。（金属製品製造業・９９人以下）
- 常務が建築系の学校へ採用のお願いに回っている。だんだん生徒数が減っていて、専門課程を専攻するクラスも減少気味である。**28年度採用者**は**全員定着**している。（総合工事業・100人以上499人以下）
- **秋採用**に力を入れている。**大手不採用**組の学生も必死なので、**あまり断られない**。（卸売業・９９人以下）